

令 和 3 年 度 小 川 中 学 校 令 和 3 年 1 2 月 3 日 発 行

NO,9 文責:小林 浩一

<11月24日(水)人権学習月間によせて 校長講話より>



みなさんは 2013 年の東日本大震災時の原子力発電所の事故のために、福島 県内の小中学校、または高等学校から転校、転居せざるを得なかった方々のこ とを知っていますか。みなさんの周りにもそんな友だちがいなかったでしょう か。そんな事情があるのに、転校先では「放射能を持ってきた」「うつる」など の心ないことを言う人々がいました。

なぜ、こう考えてしまうのでしょうか。「福島県イコール危険・あぶない」と 考えるからでしょうか。こういう見方を「偏見」と言います。そして、先ほど のことを福島差別と言います。

実際に今も福島産の食品類の輸入制限を続けている国々があります。中国や 韓国、マカオ、香港などです。その他の諸外国では、輸入制限を解除し、福島

産のものを食べています。安全基準をクリアーしているからです。これから紹介するのは、震災から4年後に書かれた作文です。それでは、読みます。

内閣総理大臣賞

「それでも僕は桃を買う」 宮城県 古川黎明中学校 3年 大沼 逸美(おおぬま いいみ)さん

夏休みのある日、僕は、家族といっしょに旅行することになり、一路、新潟を目ざして車に乗っていた。朝早く家を出発し、東北自動車道から磐越自動車道に入り、サービスエリアで休憩をとった。サービスエリアの売店にはたくさんのお土産が売られていた。その中に、福島県特産の桃が並んでいた。その桃を見て、無邪気な子どもが母親に「桃食べたい。」とせがんでいた。

しかし、その子どもの母親は「だめ。」と子どもに言い聞かせようとする。子どもも引かず「なんで。」と反論する。すると、母親は「だって、この桃、福島産だよ。放射性物質っていう良くない物がついてるかもしれないからね。」と説きふせたのだ。しぶしぶ諦めた子どもの姿を見ながら、僕は、心の中に何かひっかかりを感じていた。車に戻り、走り始めた車の中で、僕は両親にさっきの出来事を話した。父は「やっぱり放射性物質がついていないとは言い切れないからな。」と言い、母も「確かに心配ではあるね。」と言った。

これまでの自分を振り返ってみると、僕も同じようなことをしていたことを思い出した。僕の住んでいる地域のスーパーマーケットでも、「福島産」と表記されていると、どうしても避けてしまうことがあった。しっかり検査を受けて市場にでていると分かっていても、なんとなく不安だったからだ。サービスエリアの出来事にひっかかりを感じてはいたが、僕はそのことを忘れようと思った。

しかし、僕の頭から、「だって福島産だよ」という言葉が離れることはなかった。なぜ、そんなにも、 その言葉が気になるのか、僕は、旅行中、ずっと考え続けていた。そして、思い当たった。僕が小学五年 生の時に友達から言われた、あの言葉と同じ、嫌な響きを感じたからだ。

小学五年生の時、僕は仲のよかった友達と大げんかした。理由はささいなことだったが、言い合いは

とまらなくなり、とうとう互いに相手を罵倒するようになった。その時、最後に友達が僕にこう言ったのだ。「黙れ。中国人。」僕は中国生まれの日本育ちだ。日本に来てからずっと、自分が中国国籍であることを表に出して生活してきた。そのことに対して、友達の誰も触れることはなく、僕も中国国籍であることを気に留めることはなかった。しかし、あの時、その友達の言葉は、鋭利な刃物となって僕の心に突き刺さった。そして、自分は他のみんなと違うんだと切なくなった。仲の良かった友達が、心の中では僕を差別していたんだと感じ、悔しくてしかたがなかったのだ。幸い、友達とは仲直りすることができたが、しばらく、あの友達の放った言葉は、僕の胸をひっかき続け、嫌な響きとなって耳の奥に残っていた。

その嫌な響きと同じものを、「だって福島産だよ」という言葉に僕は感じたのだ。僕の場合は、中国という国のことを知りもしないのにばかにされ、福島の桃は、放射性物質のことをあまり知らないのに、 危ないと決めつけられ、自分と桃が重なって見えたのだ。風評被害という言葉は知っていたが、この時、 僕は、福島の桃は、被害ではなく、「差別されているのだ」とはっきりと感じた。

だから、僕は、桃を買うことにした。僕は差別される側の気持ちを知っている。それなのに、その僕が、知らず知らずのうちに、他の人と同じように福島県産の桃に偏見をもち、差別していた。それは、桃だけにとどまらず、福島の人々を差別していることにもなるのだと気づき、これではいけないと思ったからだ。新潟からの帰り道、僕は、磐越自動車道のサービスエリアで、桃を買った。それは、もう偏見をもたない、差別などしないという、小さいけれど大きな僕の決意でもあった。

二十一世紀の今,日本そして世界中のあちこちで、いまだに多くの偏見や差別が残っている。生まれた地域や肌の色、病気、そして、福島原子力発電所のように事故に関係するものなど様々だ。それらの偏見や差別の根本にあるのは、何なのだろう。僕は、警戒心ではないかと思う。よく分からないから、見えないから怖く疎ましく、自分から遠ざけようとする。その気持ちが、偏見や差別を生むのだ。

では、どうすれば、私達は警戒心をもたず、この世界から、偏見や差別をなくすことができるのだろうか。その鍵は、二つあると僕は考える。一つは、他の人のことをよく知ろうとする姿勢。もう一つは、他の人の気持ちを思いやる想像力。この二つが、未知のものへの警戒心を取り去ってくれる。

偏見や差別を,この世界からなくすことは本当に難しいかもしれない。けれども,二つの国の良さを知っている僕は,相手を知ろうとする姿勢と思いやる想像力をもち,周囲の人に接していこうと思う。いつかきっと,お互いを慈しみ合う世界になることを信じて。

<生徒の感想より>「どうしたら、差別や偏見がなくなるか」

私は第一印象で決めつけたり、うわさだけで判断するということをやめることが差別や偏見をなくす と思います。実際にそうなのか、自分の目で見るまでは判断しない。この心がけが、大沼さんの書いて いるように相手をよく知ろうとする姿勢につながっていくと思いました。

実際に「差別」や「偏見」という言葉を多く聞いたことがあるし、ニュースなどでは、新型コロナウイルスの感染者や外国人への差別を見たことがあります。私は「どうして、差別や偏見をしてしまうのか」疑問に思っていました。大沼逸美さんの「あまり知らないのに危ないと決めつけている」や「警戒心があり、遠ざけようとしている」という言葉が私の疑問に答えを教えてくれている気がしました。すぐになくすことは難しいけど、世界中の人たちが優しい心を持ち、お互いのことを理解する意識をすればもっと暖かい世界になっていくと思うので、私も意識したいです。

11月の行事より

< 心の健康教育(1学年) 11月11日(木)>

1 学年では、スクールソーシャルワーカーの小巻先生をお招きして 「心の健康教育」を行いました。1時間目は学級で授業を行い、心に ついて考えました。まず、心はどこにあるのか問われ、頭、胸、お腹、 頭の上など心のある場所のイメージは人それぞれでした。心がどこに あるかは別に、心の問題、ストレスを放っておくと心身の不調を引き 起こすことや、その対処法について学びました。

その後は、個別面談を行いました。担任の先生以外に相談すること 【小巻先生の授業を受ける】 の少ない中、今回、話しを聞いてもらえてよかったと思います。ストレスをため込まないためには人に話す ことと睡眠が大事と教えてもらいました。また、中学1年生の適正睡眠時間は9時間だそうなので、睡眠時 間が足りない人は、睡眠時間を確保したいところです。

今後も悩み事があるとき、相談したいときには、保健室、校長室も相談室となっていますので、気楽に相 談に来てください。



< 生徒会/ハッピーパープルフェス 11月16日(火)>

「ハッピーパープルフェスティバル」と名付けた、放送・体育委員 会と園芸委員会の企画による、レクレーションと焼き芋大会が行われ ました。園芸委員会が1年間大事に育てたサツマイモを全校で焼き芋 にしました。

サツマイモが焼きあがるまでは、放送・体育委員のみなさんが朝か ら用意してくれたサッカーコートでサッカーの試合を行いました。素 晴らしいプレーや珍プレーもあり、寒い中でしたが楽しくできました。 終わりの会での代表生徒のみなさんの感想も、楽しくサッカーができ て、焼き芋も上手にできてよかったとあり、企画は大成功でした。園 芸委員、放送・体育委員のみなさんありがとうございました。



【サッカーの様子】



【焼き芋を食べる生徒】

<生徒集会から 11月17日(木)>

【2年生が司会】

17日の生徒集会では、「タイムしりとり」を行いま した。グループに分かれ、決められた時間内にしりと りが、どれくらいできるかというゲームです。

ミニゲームを通して全校の仲を深めていくことが目 的です。ゲーム自体は先生方も参加して楽しくできた と思います。

本部会では、本部会のメンバー全員に仕事をしても らうために、2年生、1年生が会の準備から進行まで 行っていました。いよいよ2年生、1年生 に引き継 がれていくのですね。



【グループに分かれてのゲーム】

< 生徒会立会演説会/投票11月18日(木)>

生徒会立会演説会では、三役候補者のみなさんから、感謝、あいさつ、発言を積極的に、自分に自信を持つ、全校の仲を深めるなど、来期の生徒会で目指していきたいことが話されました。そのために必要な具体的なアイデアも出されましたが、それに対して、3年生が的確な質問をしてくれました。候補者のみなさんは、質問されたことで自分の考えがはっきり確認できたり、考えが広がったりしたのではないでしょうか。その後の投票の結果、三名共に信任されました。次期生徒会発足に向けて準備を進めていってください。





【堂々と演説する候補者のみなさん】

【投票の様子から】

< バレーボール新人北信大会壮行会 11月19日(金)>





【壮行会の様子より】

令和3年度 長野県(北信地区)中学校新人体育大会 バレーボール競技壮行会が行われました。男女共に大会に向けて力強い決意を発表してくれました。

< 人権学習月間 ~全校での取り組みから~ 11月4日(木)~30日(火)>



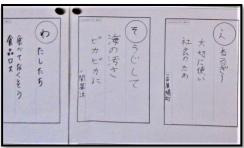
人権月間の活動として、世界人権宣言、SDG 'S カルタ、Happy Tree Blossoms などが昇降口前廊下に掲示されています。人権についていろいろな視点からの学びがあったのではないでしょうか。立会演説会の中にも感謝という言葉がありましたが、Happy Tree Blossoms には、友だちへの感謝であふれています。普段伝えられないことを伝える機会があるっていいですね。一部紹介します。

- ・○○さんへ 人の話しをしっかりと聞いている姿や目を見て話してくれるところ!がすごくうれしいです。
- ・○○さんへ 職員室の掃除を一緒にやってくれたのでとても助かりました。掃除のやり方がわからず困っていたのですが、優しく教えてくれたので、とてもうれしかったです。ありがとうございました。
- ・○○さんへ 積極的な発言が多くとてもいいと思いました。休み時間なども友だちと遊んでいる姿は明るく、周りを楽しませることができていると思います。









【オリンピックから多様性を学ぶ】

【OGAWA SDG'S カルタ制作】

<人権学習講演会 11月22日(月)>



人権学習講演会に公益財団法人 長野県障がい者スポーツ協会障がい者スポーツ地域コーディネーター 加藤正先生を講師にお招きして講演とボッチャ体験を行いました。講演では、学生時代の友だちは障がいがあっても、できるところを見て、一緒にいろいろやってくれた「心地よい配慮」の思い出

から、障がいのある人への苦手意識や壁がなく すには、一緒に活動すること、コミュニケーションをとっていくことが大事というお話しや、 大谷選手の夢を目標に変えて具体的に取り組ん だ例をあげて、夢を叶えるには「○○になる」 と決めた時に夢が目標に変わる、自分がなりたい

【講演される加藤先生】

ものがあったら、「○○になる」と決めることと話されました。

パラリンピックに5度出場し、銀メダルまで獲得した加藤先生のお話は説得力がありました。ボッチャは初めて体験する人も多かったですが、最初から楽しめる奥の深いゲームでした。



【ジャックボールとの距離を測る】

小川スポーツふれあいクラブ会長、宮下 登様、事前の打ち合わせから、当日のコートの設営や審判にご協力いただきありがとうございました。

<北長野ブロック人権教育協議会授業公開(3年生) 11月22日(月)>

約40名近くの参観者を招いて、3年生が人権学習の授業を行いました。テーマは「小川村にダムは必要か」を村会議員として賛成か反対かの立場を明確にして意見を出し合いました。賛成の人は、村の活性化にはダムが必要、反対の人は、自然が壊される、小川産のリンゴがなくなってしまう等、個人の権利と公共の福祉のどちらを優先するのか「小川村ダムマップ」を手がかりに白熱した議論が行われました。

しかし、話し合いでは、相手の話を「うなずき」ながら聞き、 自分と意見が違っても否定せずに自分の意見も伝えていました。 これは、お互いを尊重し合う、人権尊重の姿だったと思います。

また、多面的に物事をみて話し合うことで、反対だった人が賛成に変わるなど、話し合いを通して、自分の考えを再構築していく姿もあり、とてもよく考えていました。





【グループでの話し合い活動】

<読書旬間 ~11月25日(木)>

編集・図書委員会では、秋の読書旬間企画として、「読書郵便」(普段は読まない分野でも友だちのすすめる本を読んでみる企画)、国語科とのシークレット企画、「お話し会」(12/15 予定)がありました。(あります。)シークレット企画は1年生が「小さい秋みつけた」3年生が「世界人権宣言 SDG'S レポート」、(2年生はこれから)でした。この旬間を通して読書の世界が広がったと思います。



【3年生のレポートと関連本紹介】

〈お知らせ〉

<<u>令和3年度 長野県(北信地区)中学校新人体育大会 バレーボール競結果11月13日(土)</u>> 男子 1日目 1回戦 <u>小川・中条・広徳中合同チームVS屋代中</u> (惜敗)

$$0 \quad \begin{bmatrix} 1 & 7 - 2 & 5 \\ 1 & 6 - 2 & 5 \end{bmatrix} \quad 2$$

女子 1日目 1回戦 小川・更北中合同チーム VS 野沢温泉・木島平中合同チーム (惜敗)

$$0 \quad \begin{bmatrix} 1 & 0 - 2 & 5 \\ 1 & 5 - 2 & 5 \end{bmatrix} \quad 2$$

【西側渡り廊下雪よけ設置について】

西側1階の渡り廊下に校務手の和田先生に「雪よけ」を設置していただきました。外観に合わせて薄紫色の波板を張ってもらい、中央の出入り口には幕を吊し、ひもで止めてもらいました。これで、 冬期間も安心して通行できるようになりました。

和田先生には、今年も事務室前と昇降口外側にクリスマスツリー を設置していただきました。点灯すると、ツリーが窓ガラスに映っ て、とても華やかな印象です。年末らしくなってきました。

【3学年朝学習について】

3年生が修学旅行後から朝学習を始めています。場所は多目的教室で、時間は7時半頃から行っています。基本的には自主学習なのですが、先日は校長先生に社会を教えていただきました。朝学習は30分程度の学習ですが、毎日続けていく気持ちがあれば、必ず得点力アップにつながると思いますので、希望される方は、ご参加ください。



【西側渡り廊下風景】



【朝学風景】

【保護者アンケートについて】

12/3(金)に標記のアンケートをお配りしました。今年度よりグーグルフォームで回答していただく 方式に小中で変更いたしました。つきましては、配布プリントの説明を確認していただき、12/17(金) までに、ご回答ください。ただし、パソコン、スマートフォンなどの機器類、ネットワーク環境等でグーグ ルフォームに入れない場合は、学級担任にお問い合わせください。